

巻末資料

次ページ以降の資料は、個別に印刷することで普及啓発用にご使用いただけます。
※内容を改変して利用する場合は、事前に自然保護課にご相談ください。

電気柵 点検チェックシート

点検日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

電圧は、4000V以上あるか

【電圧低下の原因】

- ・ 電気柵本体の性能を超えた電線の総延長距離
- ・ 充電不足、バッテリーの劣化
- ・ 漏電



漏電が原因の場合は、次の項目で点検しましょう

漏電の原因となるものはないか

【漏電の原因】

- ・ 雑草の接触
- ・ ガードレールや支柱の金属部分の接触



▲ 電線近くにトタンや単管パイプがあり漏電の危険性がある例

アース棒はきちんと打ち込まれているか

【アース棒の設置不良】

- ・ アース棒がすべて地面に打ち込まれていない
- ・ アース棒間の距離が近い
- ・ 設置場所が乾燥した砂地



▲ アース棒が打ち込まれていない例

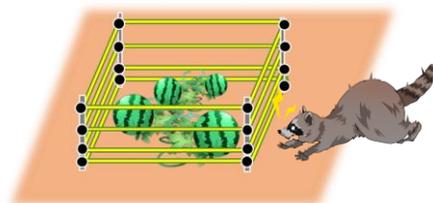
電線の高さは正しいか

【獣種ごとの電線の本数と地面からの高さ】

- ・ イノシシ：2本（20,40cm）
- ・ ニホンジカ：5～6本（20,40,60,90,120,150cm）
※ 5～6本目は通電せずダミー線でもよい
- ・ アライグマ・ハクビシン：4本（5,10,20,40cm）

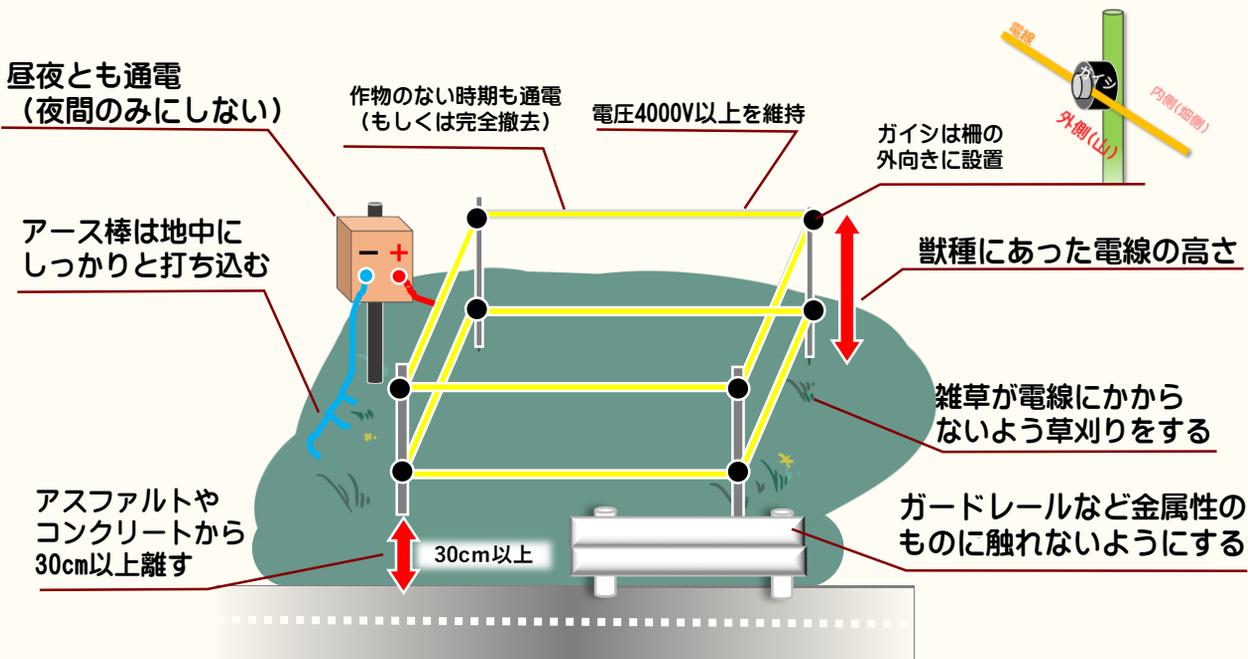
24時間の通電となっているか

早朝や夕暮れ時は野生動物が活発に動きます
ケチケチせず24時間通電としましょう



電気柵

正しく設置できていますか？



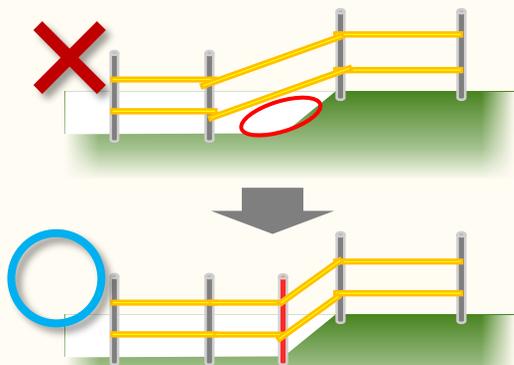
触れても痛くない電気柵にはしない！

電気柵は、動物が鼻先や前足で電線を触れることで効果を発揮します。電気が流れていない電気柵に慣れると鼻先で触れることをせず、電線をくぐるようになり、効果がなくなってしまいます。

(痛くない電気柵の例)

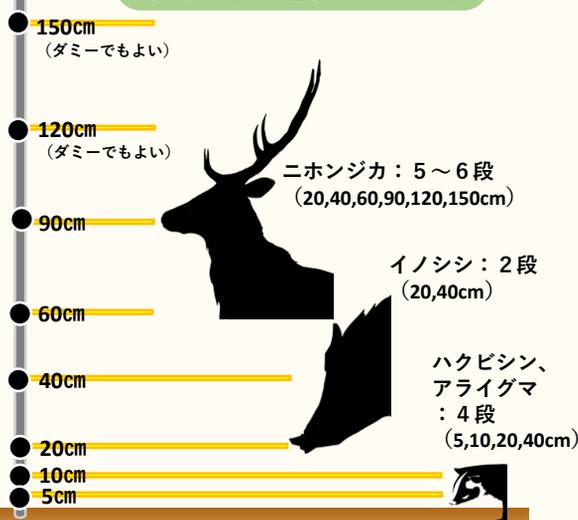
- ・漏電による電圧低下
- ・日中や作物のない時期に電源OFF
- ・間違った電線の高さ

電線は地面と平行に



▲地面の凹凸がある場所は隙間ができやすい。
地面と電線が平行になるように支柱を追加する。

獣種別の電線の張り方



イノシシも
サルも大好き
二番穂！

ミカンを食べるニホンザル

二番穂を食べるイノシシ

二番穂や放任果樹が 動物の餌になっています

二番穂や放任果樹を放置しておくことは動物に餌を与えていることと同じです

本来餌の少ない冬季に、集落付近でこれらの餌を食べると…

- ①越冬する体力が養われる！
- ②翌春の繁殖力が高まる！
- ③集落周辺に居つくようになる！

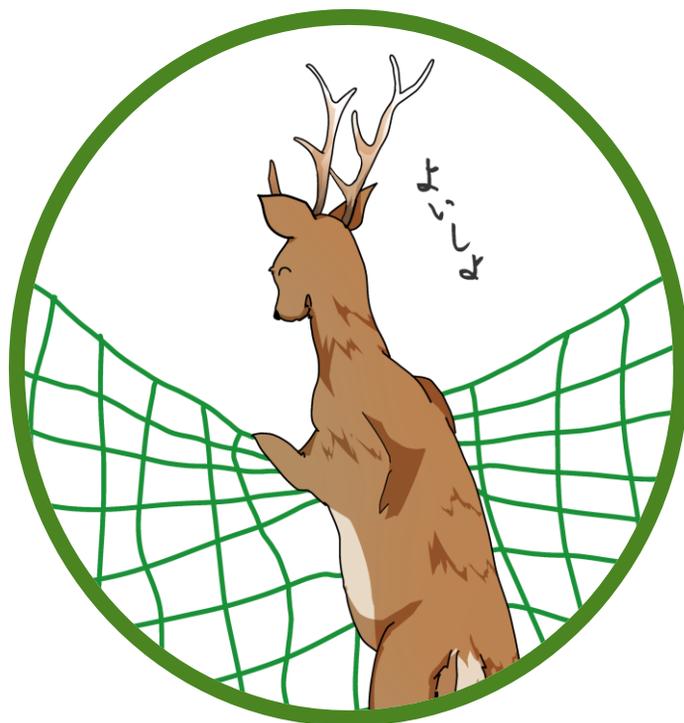
二番穂をすき込んだ水田

**二番穂はすき込むor柵設置
放任果樹も収穫or伐採**

本マニュアルは、平成30年～令和2年度イノシシ等野生獣対策モデル事業の一環で作成されたもので、獣害対策支援専門職員が現場で得た情報や既存研究・知見に基づいてとりまとめたものです。

なお、当該事業においては、モデル地区として設定した勝浦市大森地区、南房総市千倉町川戸地区、いすみ市峰谷地区の地域の皆様にご協力いただきました。

この場をお借りしてお礼申し上げます。



ちび

2021年3月 初版発行

発行
編集

千葉県野生鳥獣対策本部
千葉県環境生活部自然保護課
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
TEL043-223-2936 FAX043-225-1630

※複製・転載をする場合は必ず千葉県の許可を得て下さい。
※転載をする場合は必ず引用元を明らかにして下さい。